

主な議案

総括質問

一般質問

委員会視察レポート

議会を知つtoco

議員 今後、10年、20年先の都市計画を考へる都市マスタープランの策定には、自動運転等影響が大きく、実現が考へられる技術への考へが必要では。

都市整備部長 国は、平成26年「官民ITS構想・ロードマップ」を策定し、交通事故の削減、渋滞緩和、移動



▲第2次戸田市都市マスタープラン

自動運転等の次世代交通の整備を「情勢をにらみながら、適切に対処」

十川 拓也 議員

支援、物流の効率化等を目的として、検討を進めている。国や県社会情勢をにらみながら、適切に対処していく。

市長 国では次世代モビリティシステムの構築を重点分野として掲げている。今後の可能性を感じているので、国や県の動向を見ながら対応していく。

将来ビジョン

新幹線騒音

環境基準、住民理解が得られるように要望を

「JR東日本へ要望していく」

馬場 栄一郎 議員

議員 東北新幹線 上野〜大宮間で速度向上のための対策工事をJRが実施することだが、現時点の騒音調査結果は。



議員 北新幹線 上野〜大宮間で速度向上のための対策工事をJRが実施することだが、現時点の騒音調査結果は。

に吸音板を設置する対策工事のこと。

議員 他の地点も基準を上回っている可能性があるので、速度向上で2〜3デシベル上昇

市民生活部長 埼玉県とJR東日本において、上り・下りをそれぞれ測定している。測定地点は戸田駅北部の新曽1300番地付近で、平成28年が76と71デシベル、平成29年が73と72デシベルと、環境基準の70デシベルを超過していた。しかし、今年2月に対策工事を行った。67と65デシベルとなった。2月に行った工事内容は、騒音調査地点の350メートル



▲高架を走る新幹線

先進技術

「IoT、活用」

議員 IoTの行政活用法。

総務部長 行政の内部ネットワークをインターネットから分離しているため、現状では活用することはできないが、今後、先進技術であるIoTの動向は、注視し研究していく。

議員 A-1の自治体での状況、行政活用は。

総務部長 自治体での活用状況は、さいたま市では保育所入所の選考業務、大阪市では戸籍作成業務の職員支援にAI活用試験を実施。本市では、昨年度より三菱総合研究所の「AIスタッフ」の実証事業に参加し研究してきた。今後もAI等での業務効率化を図れるよう、研究していく。

する見込みであることから、測定地点の追加を。

市民生活部長 今回、JRは複数地点の騒音測定を行う予定。

議員 さらなる対策工事と、環境基準が守られているか沿線住民の理解が得られるように、JRに対し要望を。

市民生活部長 騒音対策の実施は、市からJR東日本へ要望していく。また、環境基準の遵守と、さらなる数値の低減、環境基準が守られていることを情報開示することなども要望していく。

その他の質問

Q バス停にベンチを。
A 設置基準に沿って個別に対応する。

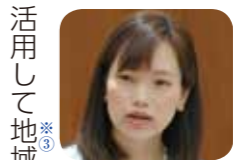
地域猫活動

殺処分ゼロを目指し、補助制度を

「県補助金を活用し、制度を検討」

金野 桃子 議員

議員 戸田市では平成27年度より県補助金を活用して地域猫活動が始まっている。新市長の下で殺処分ゼロを目指し、補助制度を。



議員 戸田市では平成27年度より県補助金を活用して地域猫活動が始まっている。新市長の下で殺処分ゼロを目指し、補助制度を。

環境経済部長 県補助金の活用を視野に入れ、市の補助制度を検討。

総務部長 今後は民間と戸田市双方にメリットがあれば、分野や企業規模に限らず協定を締結したい。また先進自治体を視察し、「公民連携専用窓口」を戸田市でも新たに設置する。

市長 殺処分ゼロを目指す。

教育部長 ベネッセ等70社強の企業等と連携し、今後も推進する。

議員 大変力強いご回答だ。TNR活動に合わせ里親会も進めたい。駅前等の道路占用許可をもらえないか。

議員 イオンモール北戸田に期日前投票所の設置を。

都市整備部長 地域猫活動は、市が支援している市民活動であり、道路占用許可を出すことは可能。

行政委員会事務局 実施に向け具体的な協議を進める。来年実施の選挙で開始を検討。

官民連携の推進を

議員 物品販売、就労機会等の障がい者支援についても官民連携を。

議員 複雑多様な行政需要に的確かつ効

福祉部長 先進事例を調査・研究する。



▶目やに等で汚れていた子猫でも、新しい里親さんのもとで幸せに暮らしています(写真提供:とだニャン)



議員 新曾北小学校の特別支援学級に、新曾

小学校の学区から13人の児童が通っている。学区内の学校へ通えるよう、新曾小学校に特別支援学級の設置を。

教育部長 現在、条件整備をし、来年度の開設に向け検討している。



▲来年度、特別支援学級が設置される予定の新曾小学校

学校建て替え計画の見直しを

を来すと考える。校舎の代替地がない戸田第一小学校の建て替え計画と共に見直すべきではないか。

新曾小に特別支援学級の設置を

「来年度の開設に向け検討している」

本田 哲 議員

議員 私たちは、戸田東小中学校の一貫校化の工事費用が60億円から80億円に膨れ上がり、コスト削減になっていない。教室不足対応は、戸田東中学校の空き教室利用とプレハブ建設で対応できる。給食の食数不足も新曾小学校に単独調理場を建設すれば解決できる。全小中学校は耐震化済みであるなど、一貫校化せずとも、さまざまな課題が解決できると主張してきた。児童生徒が2千人規模となり、教育環境に大いに支障

市長 戸田東小中学校の一貫校化は、校舎の老朽化と児童の増加に伴う教室不足を解消するため進めてきた。また、設計段階でコスト削減にも努め、工事中におけるさまざまな問題にも対応策を検討し説明してきた。議会でも議決を得たことを理解した上で、現在の計画は最善の選択であると考えており、見直しは考えていない。戸田第一小学校も老朽化による建て替えであり、計画通り進める。

主な議案

総括質問

一般質問

委員会視察レポート

議会を知つtoco

※①ITS……高度道路交通システムの略。人・道路・自動車の間で情報の受発信を行い、さまざまな課題を解決するためのシステム。
※②IoT……「モノ」と「ネット」をつなげる技術でモノのインターネット。
※③地域猫活動……地域住民の理解を得て、野良猫を捕獲し去勢不妊手術をし、元いた場所に戻し(TNR活動)、それ以上増えないようにする活動。